

地域と学校の協働における 社会教育人材の役割・活躍機会

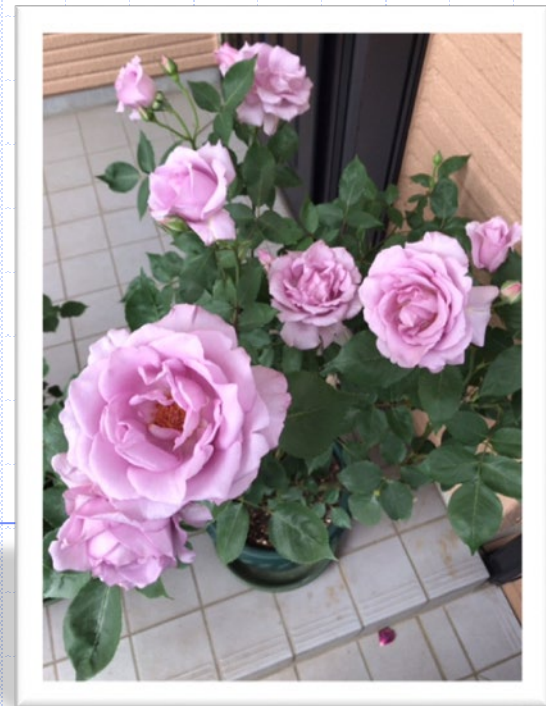


栃木県総合教育センター

生涯学習部長

井上昌幸

1 地域学校協働活動における 社会教育士への期待



Ieraishan(夜来香)

地域学校協働活動における社会教育士への期待

地域学校協働活動における社会教育士の活躍の場面について

①地域学校協働活動関係者として

- ◎統括的な地域学校協働活動推進員
- ◎社会教育指導員
- 地域学校協働活動推進員

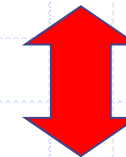
②学校関係者として

- 地域連携担当教職員
- △学校管理職(校長、副校長、教頭等)
- △学校運営協議会委員(特に委員長)

③地域活動関係者として

- ・学校支援ボランティア
- ・地域活動実践者

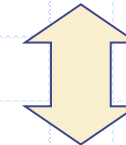
社会教育士の称号



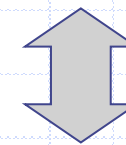
積極的に取得



できれば取得



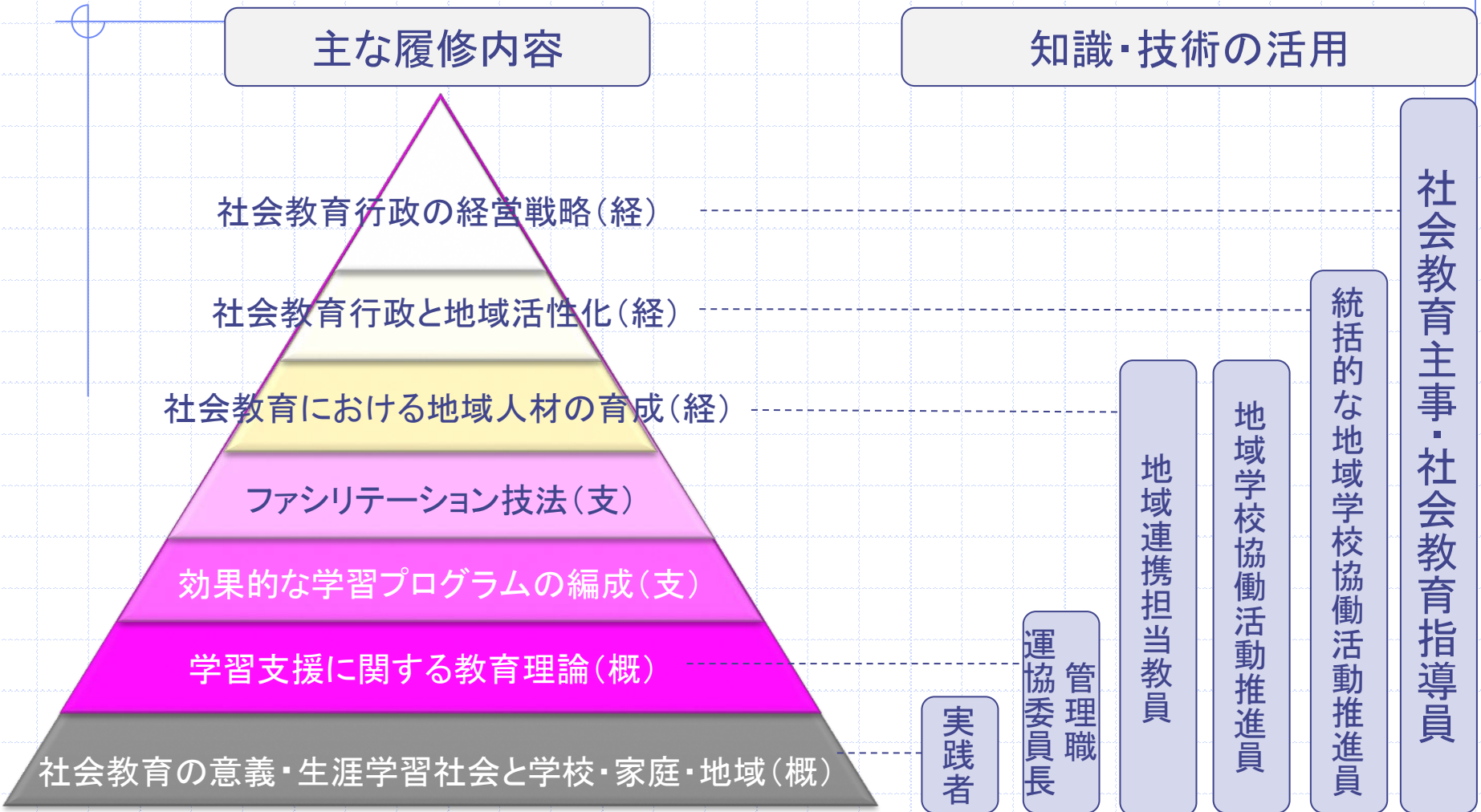
取得で有効



取得で効果

地域学校協働活動における社会教育士への期待

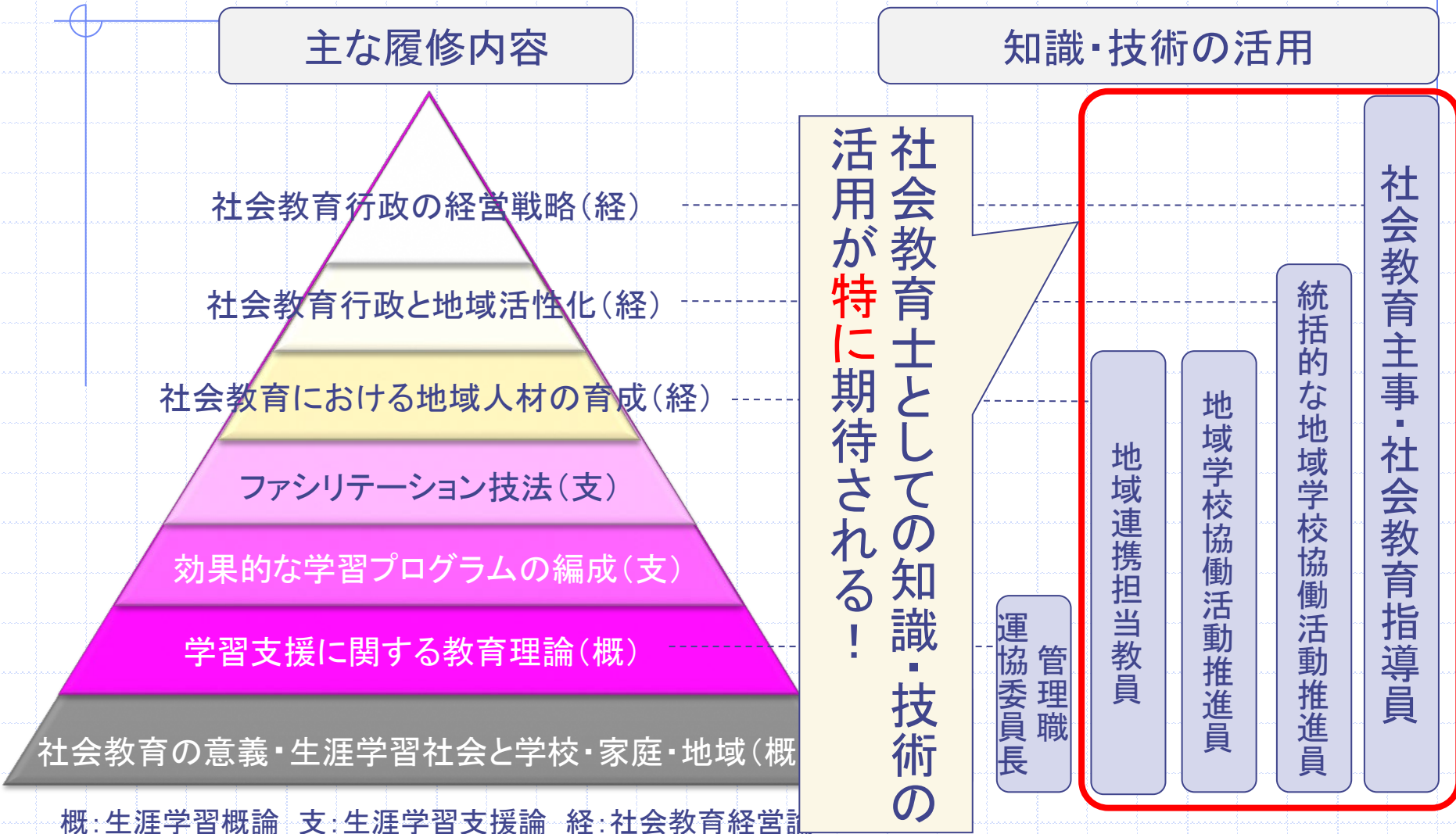
地域学校協働活動の担い手と社会教育士の履修内容(井上作成)

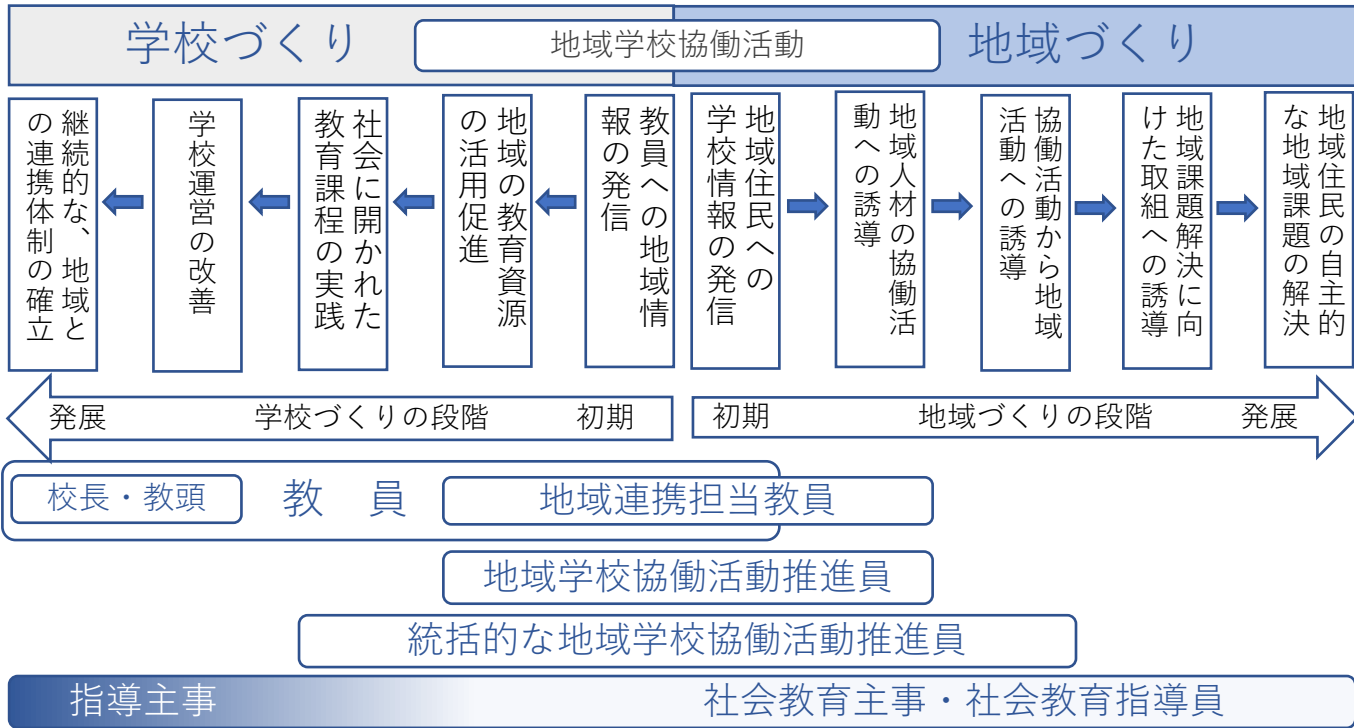
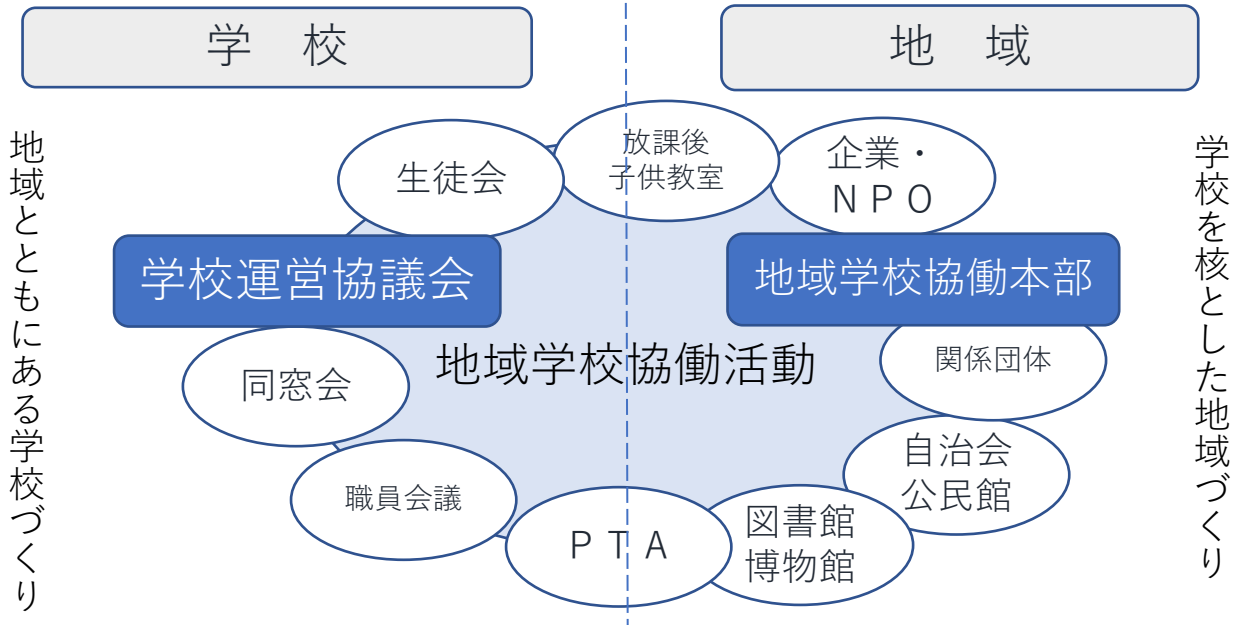


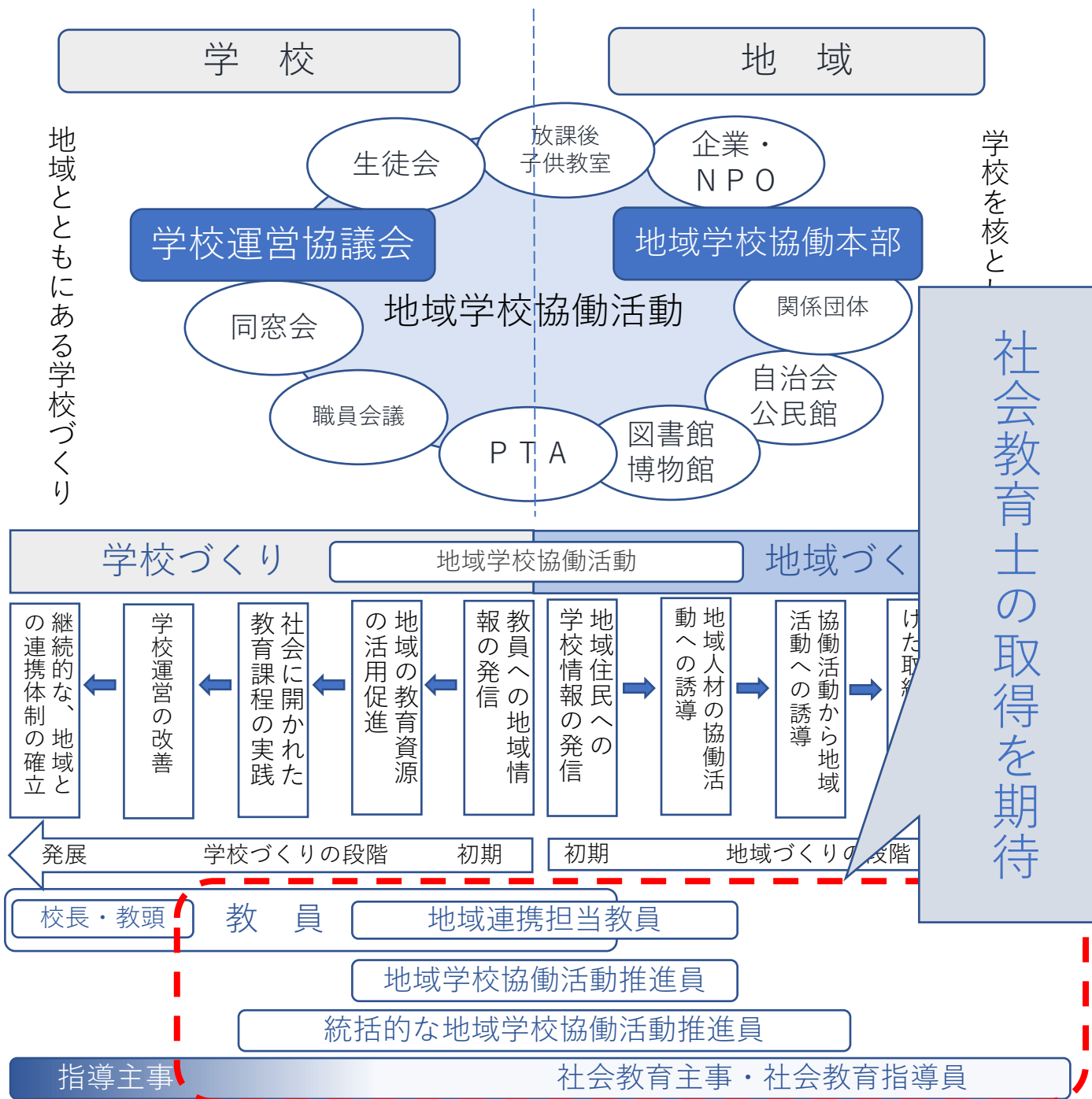
概:生涯学習概論 支:生涯学習支援論 経:社会教育経営論

地域学校協働活動における社会教育士への期待

地域学校協働活動の担い手と社会教育士の履修内容(井上作成)







2 栃木県の地域連携教員制度



Francis Dubreuil
John Paul II
Jubilee Celebration
Jude the Obscure

栃木県の地域連携教員制度

地域学校協働活動の担い手と社会教育士の履修内容(井上作成)

主な履修内容

知識・技術の活用

社会教育行政の経営戦略(経)

社会教育行政と地域活性化(経)

社会教育における地域人材の育成(経)

ファシリテーション技法(支)

効果的な学習プログラムの編成(支)

学習支援に関する教育理論(概)

社会教育の意義・生涯学習社会と学校・家庭・地域(概)

栃木県では地域連携教員を設置

運協委員長
管理職

地域連携担当教員

地域学校協働活動推進員

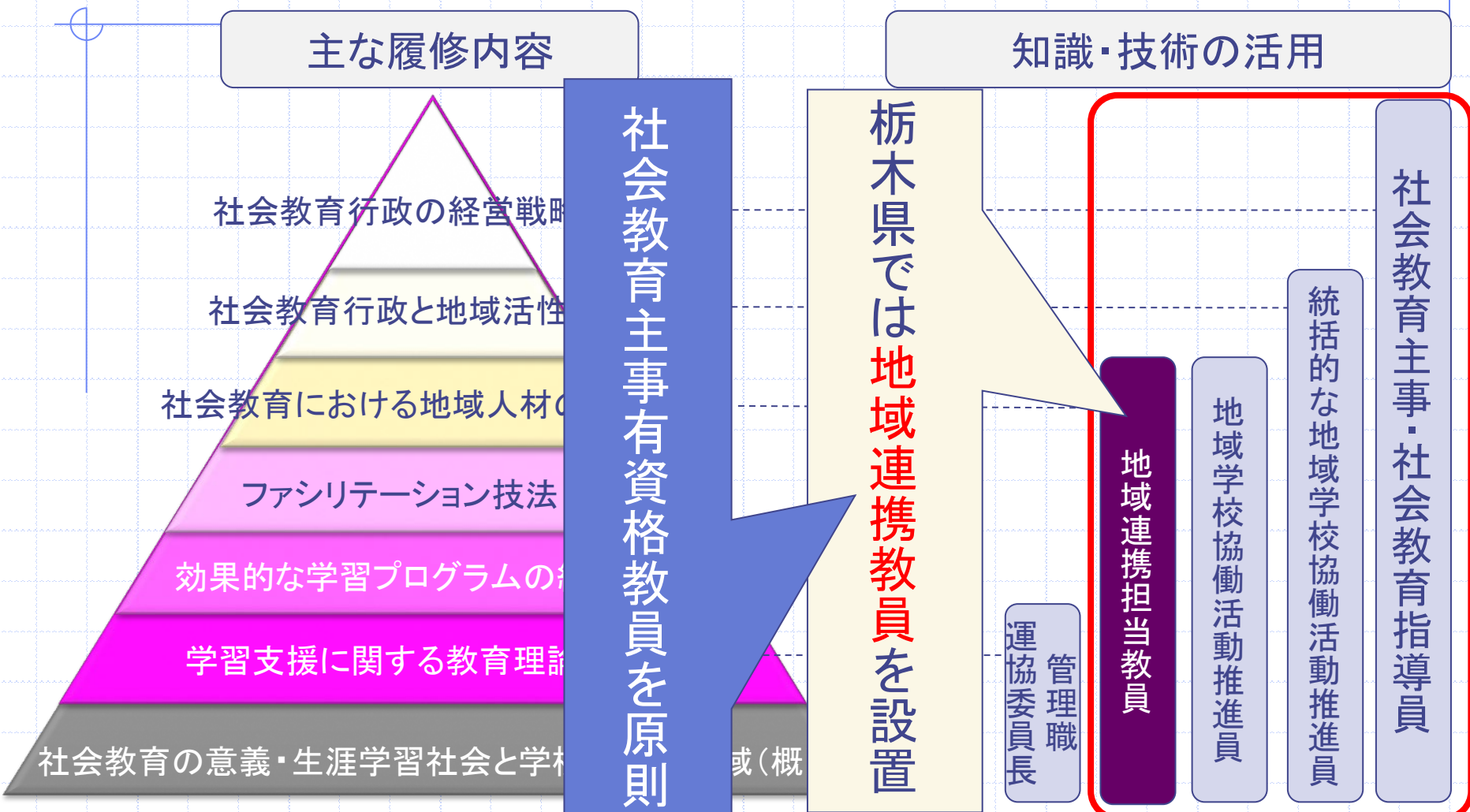
統括的な地域学校協働活動推進員

社会教育主事・社会教育指導員

概:生涯学習概論 支:生涯学習支援論 経:社会教育経営論

栃木県の地域連携教員制度

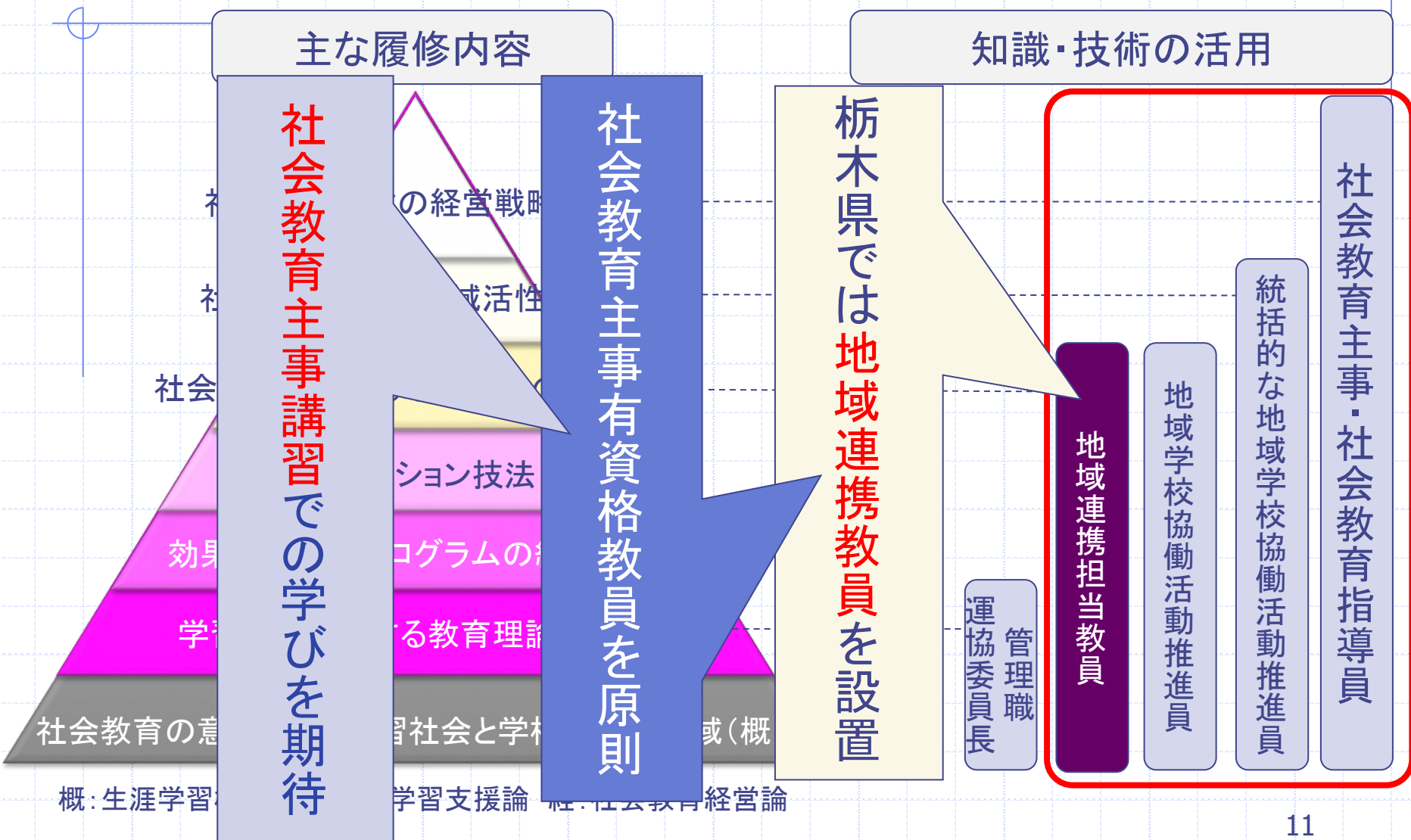
地域学校協働活動の担い手と社会教育士の履修内容(井上作成)



概:生涯学習概論 支:生涯学習支援論 経:社会教育経営論

栃木県の地域連携教員制度

地域学校協働活動の担い手と社会教育士の履修内容(井上作成)



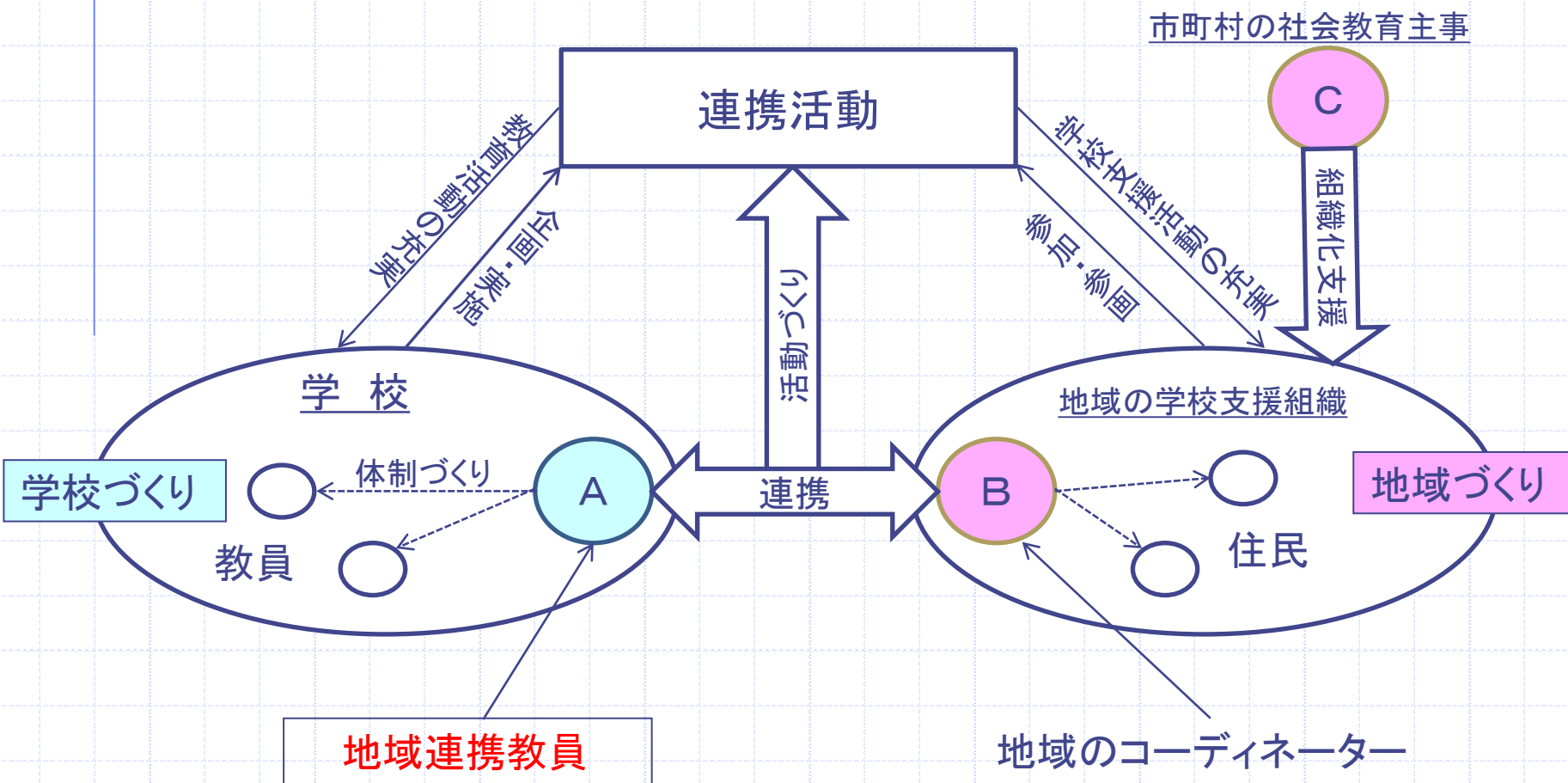
栃木県の地域連携教員制度

(1) 地域連携教員の設置

- 平成26年度から全公立学校（小学校、中学校、義務教育学校、県立学校、特別支援学校）に設置。
- 地域連携に関する学校の窓口を明確にすることで、校内の体制を整備し、学校と地域が連携した教育活動を生涯学習の視点から効果的・効率的に展開する。
- 児童生徒の学習意欲や学力、社会性の向上等、生涯にわたって生きる力を育むとともに地域に根ざした特色ある学校づくりを推進する。

栃木県の地域連携教員制度

(2) 地域連携教員制度のスキーム



(3) 地域連携教員制度の内容



設置

「地域連携教員」として、校長が指名し校務分掌に位置づける。

指名要件

「社会教育主事有資格教員」を指名する。

難しい場合には、資格の有無にかかわらず適任者もしくは教頭を指名する。

職務

(1) 地域と連携した取組の総合調整 (プランナー: 企画者)

(2) 地域と連携した取組の連絡調整や情報収集

(コーディネーター: 調整者)

(3) 地域と連携した取組の充実 (アドバイザー: 助言者)

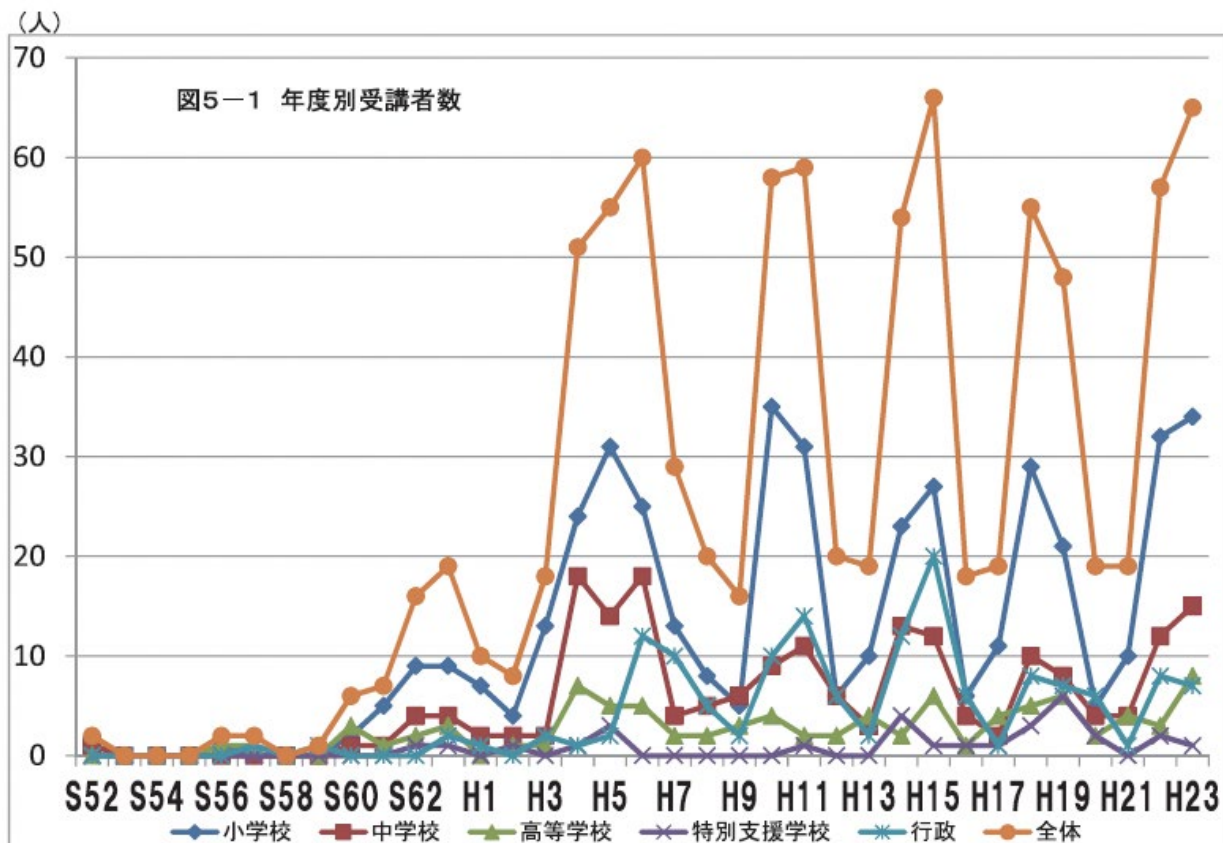
校内体制

校内に「地域連携係」等を設置し、地域連携教員を配置する。

栃木県の地域連携教員制度

背景①

社会教育主事有資格教員の全校配置計画



各校1名の有資格教員の配置を目指した社会教育主事講習への派遣

社会教育主事有資格教員の状況

有資格教員数

1,094名 (小・中・義校・高・特支)
※全教員数 15,859名

学校配置率

小・中・義務教育学校 81.3%
県立学校(県立中含む) 74.4%

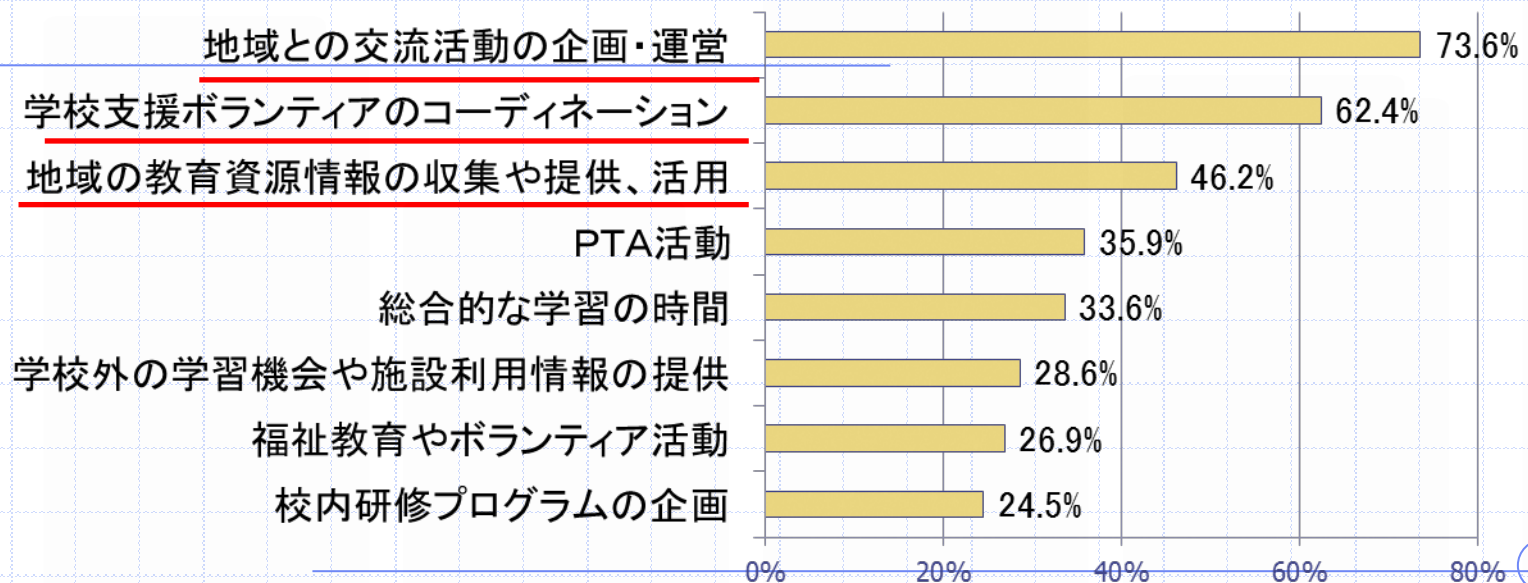
➡ 約8割の学校到有資格教員が在籍

※令和5年4月現在

背景② 有資格教員は資格を生かしたい

【有資格教員の認識】

学校で有資格者としての知識や経験が生かせる活動は何か
(複数回答)上位の回答を表示 (n=886)



栃木県総合教育センター調査(H24)

→有資格教員として活動したくてもできない教員も多い。

栃木県の地域連携教員制度

しかし、校内体制は整っていない

	生涯学習係・地域連携係等の設置率	社会教育主事有資格教員の担当率
小学校 (n=392)	98.7%	<u>23.2%</u>
中学校 (n=166)	97.5%	<u>26.2%</u>
県立学校 (n=84)	63.2%	<u>3.5%</u>

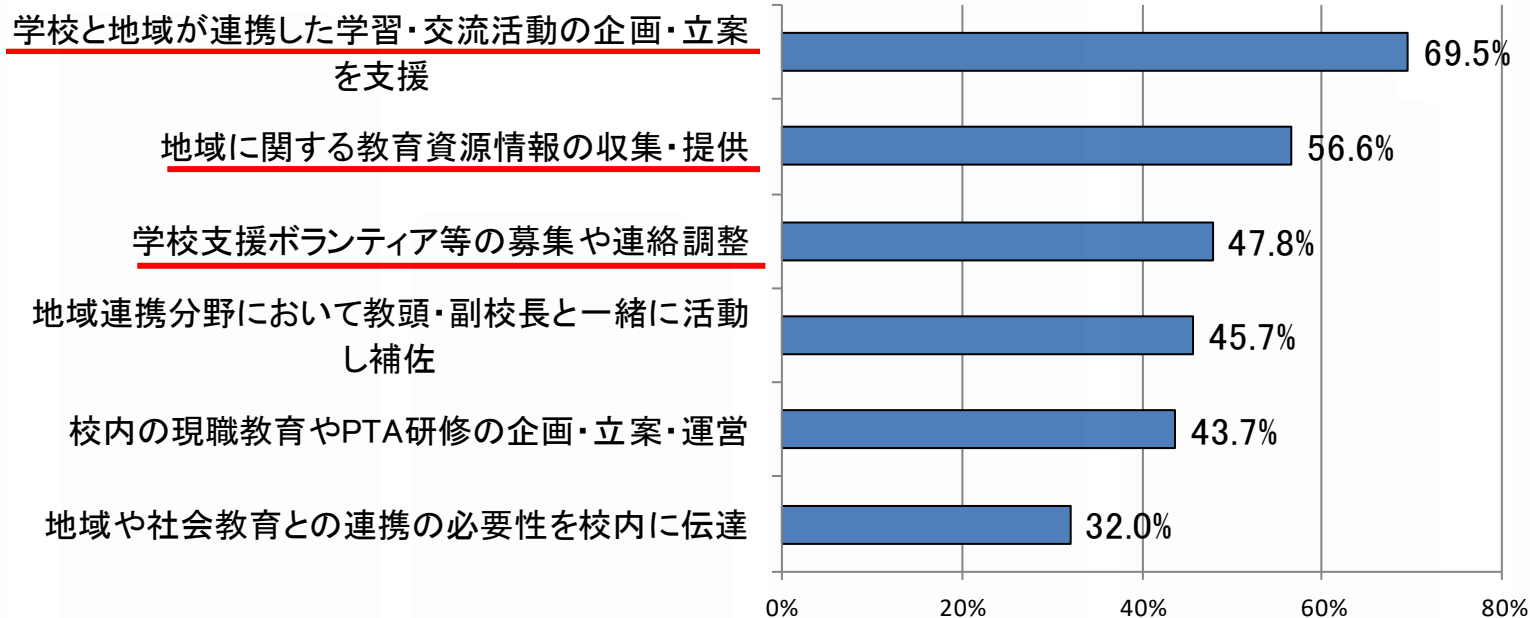
H25年8月現在

→有資格教員としてのスキルを生かせる体制でない。

背景③ 管理職は資格を生かしてもらいたい

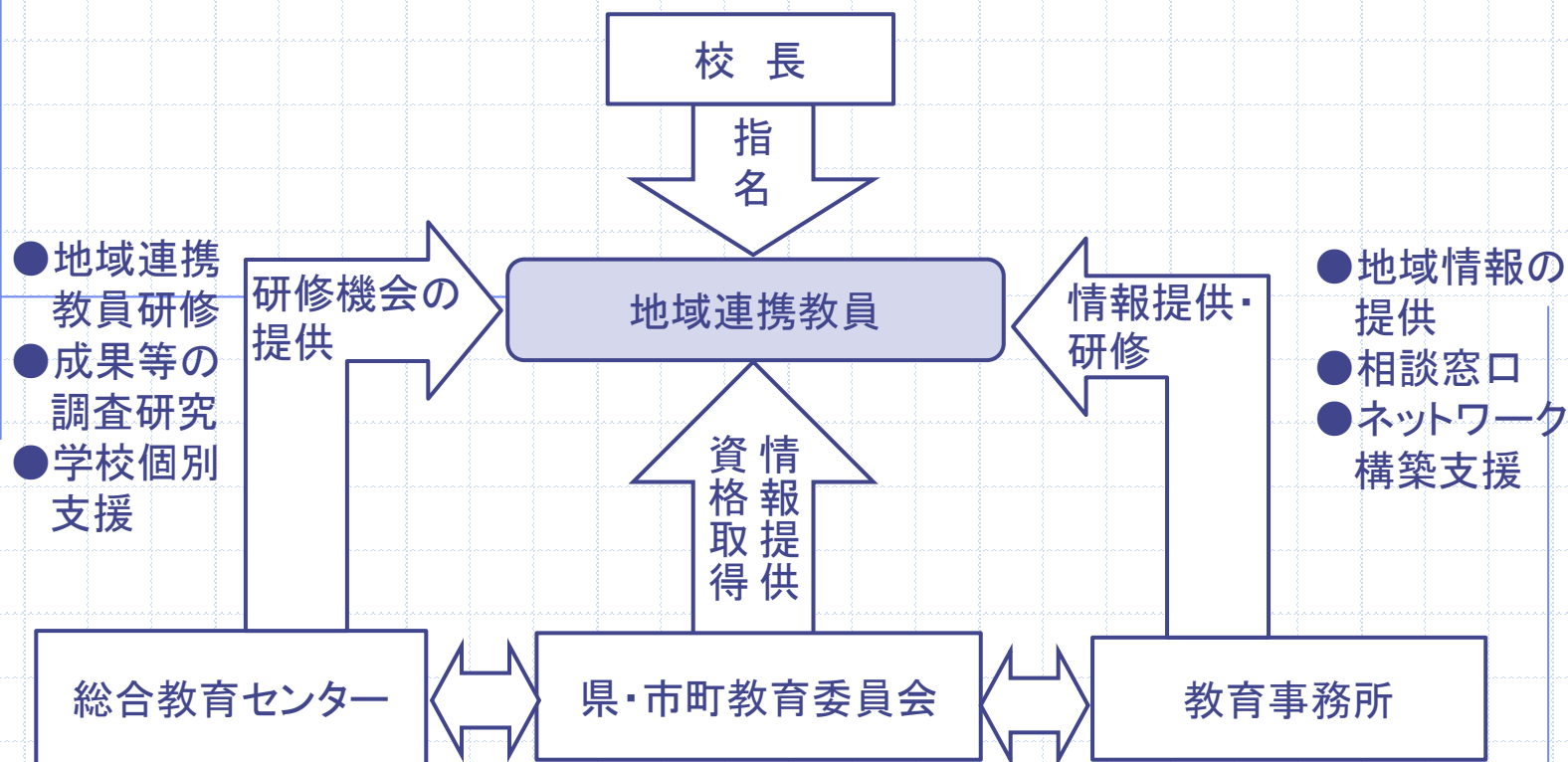
【管理職の認識】

社会教育主事有資格者が果たす役割についての期待
(管理職への調査) 複数回答(n=886)



栃木県の地域連携教員制度

(4) 地域連携教員への支援体制



設置とともに**支援体制を構築**して持続可能な取組に

栃木県の地域連携教員制度

地域連携教員の内訳（令和5年度）

校種	校数 (校)	地域連携教員の職名別人数 (下段は社会教育主事有資格者数)					有資格者の割合
		教諭	主幹教諭	教頭	その他	小計 (人)	
市町立小学校 (分校は任意)	333	200	5	129	0	334	36.8%
	(有)	91	1	31	0	123	
市町立中学校 (分校は任意)	143	104	3	35	1	143	33.6%
	(有)	38	2	8	0	48	
義務教育学校	6	4	0	3	1	8	37.5%
	(有)	1	0	1	1	3	
県立学校	86	66	14	2	5	87	32.2%
	(有)	23	3	0	2	28	
県立高等学校 (全日・定時・通信制)	68	51	12	0	5	68	26.5%
	(有)	14	2	0	2	18	
県立附属中学校	3	1	0	2	0	3	33.3%
	(有)	1	0	0	0	1	
県立特別支援学校 (分校は任意)	15	14	2	0	0	16	56.3%
	(有)	8	1	0	0	9	
合 計	568	374	22	169	7	572	35.3%
	(有)	153	6	40	3	202	
職名の割合 (n = 572)		65.4%	3.8%	29.5%	1.2%		
有資格者の割合 (n = 各職名の教員数)		40.9%	27.3%	23.7%	42.9%	35.3%	

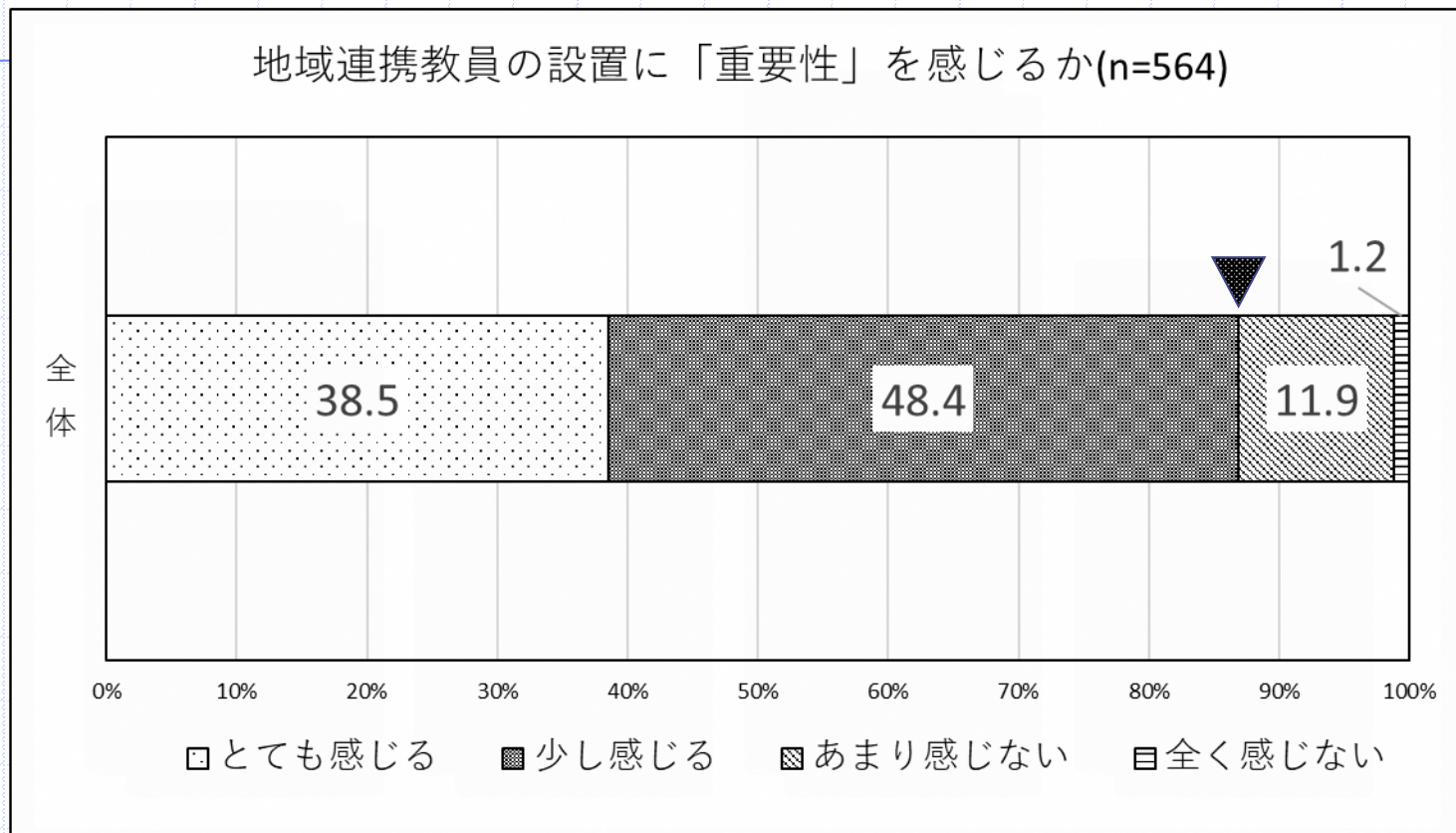
3 地域連携教員制度の効果と課題



Crimson Glory

地域連携教員制度の効果と課題

(1) 地域連携教員の認識



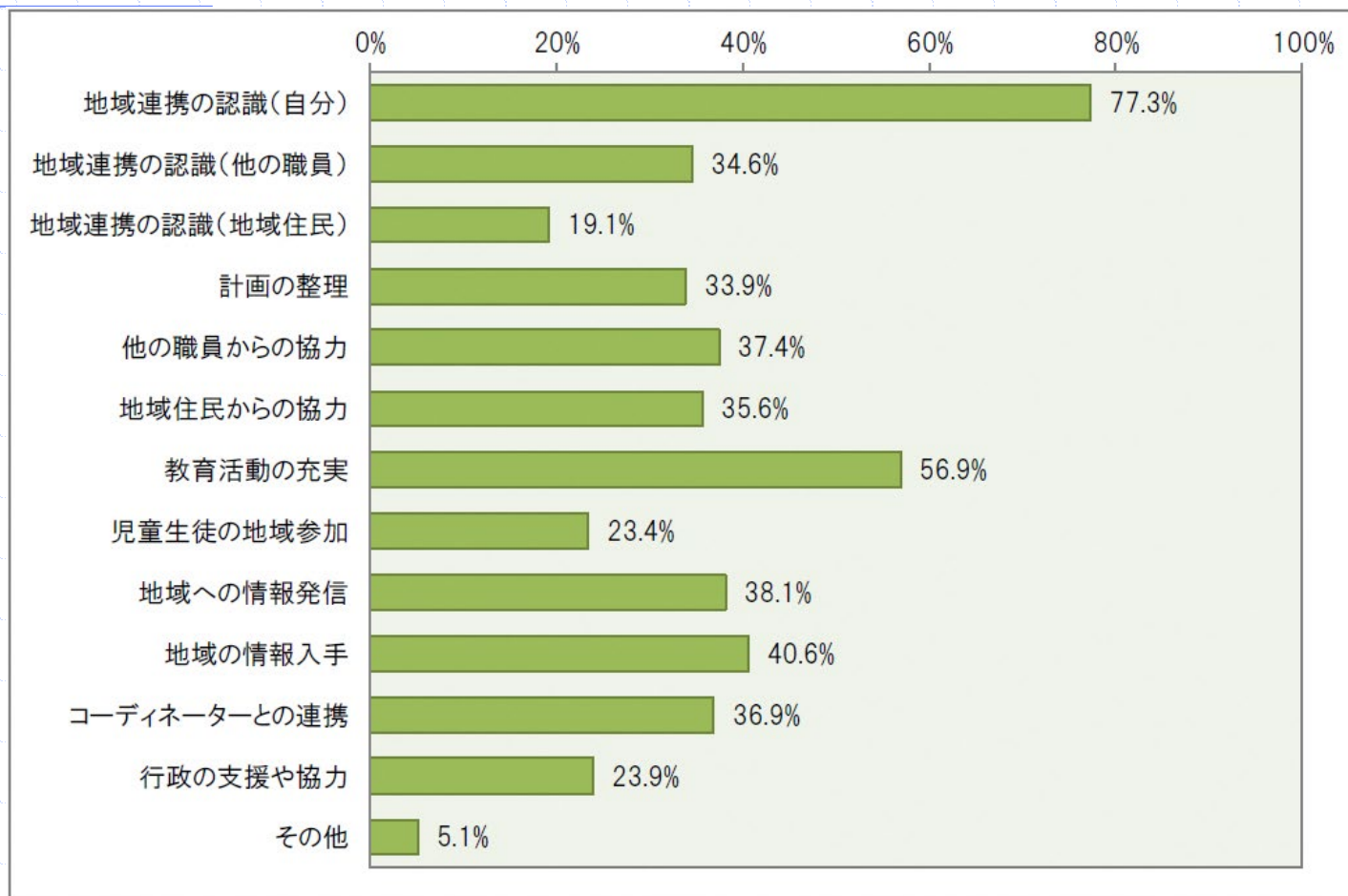
「地域連携教員の実態に関する調査研究」栃木県総合教育センター（H27）

「とても感じる」と「少し感じる」を合わせると86.9%となり、**約9割の地域連携教員が設置の重要性**を感じている。

地域連携教員制度の効果と課題

(2) 地域連携教員の効果

【地域連携教員として業務を進めてきての効果】

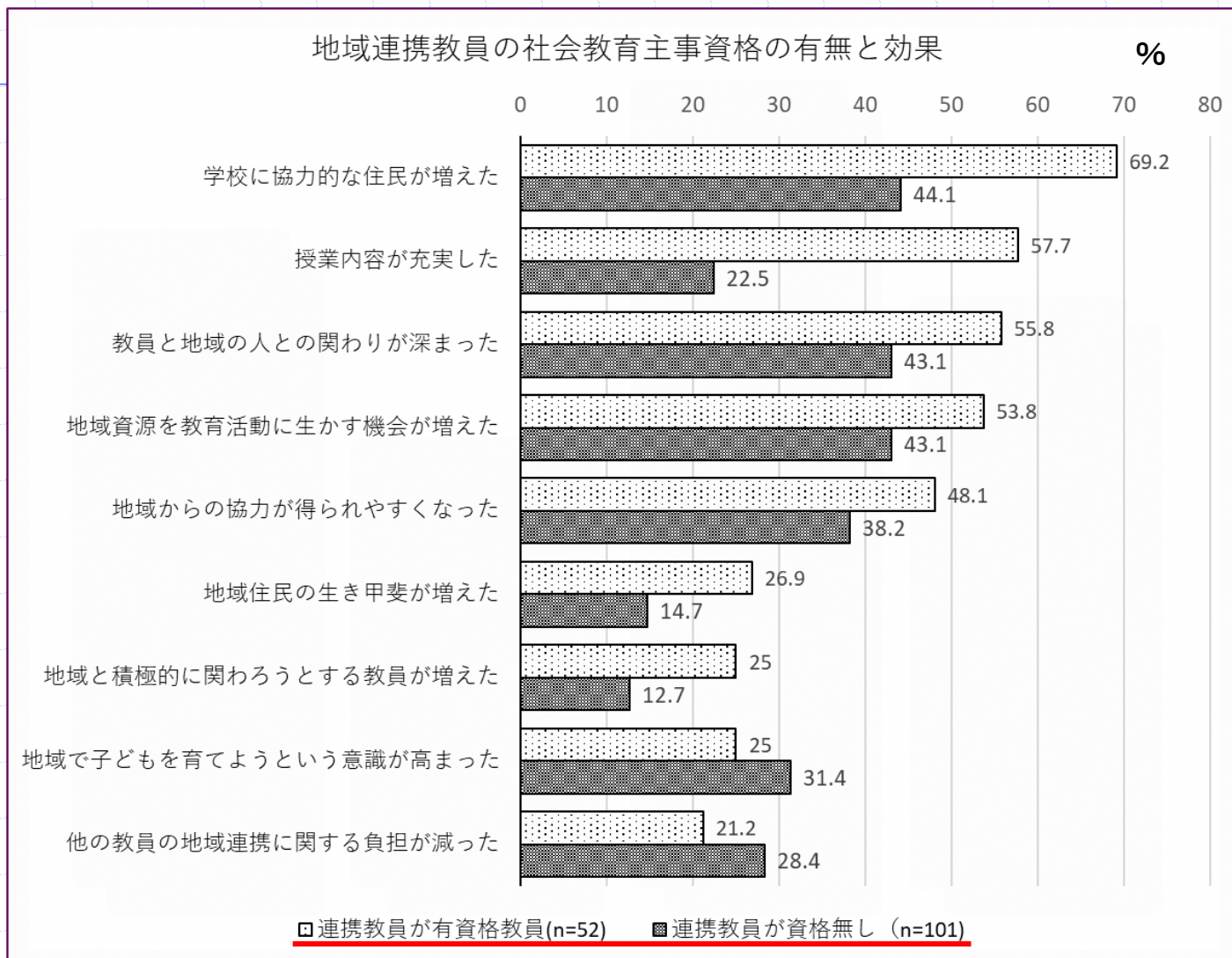


(n=564)

「地域連携教員の実態に関する調査研究」 栃木県総合教育センター (H27)

地域連携教員制度の効果と課題

(3) 資格の有無と効果



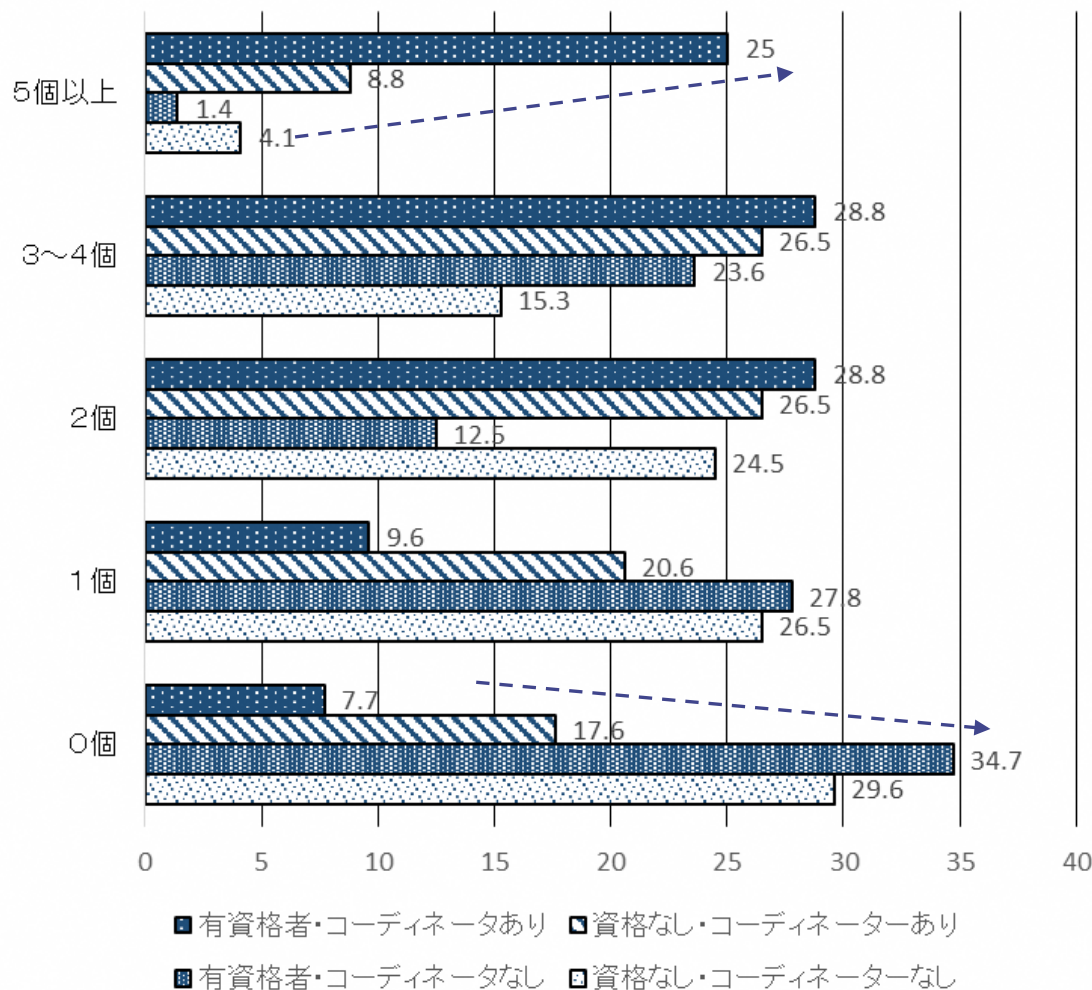
「栃木県の地域連携教員設置におけるその効果と課題」

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 実務研修生研究報告書(H28) を基に作成

地域連携教員制度の効果と課題

(3) 資格の有無と効果

地域連携教員の設置による学校における効果の数
(n=324)



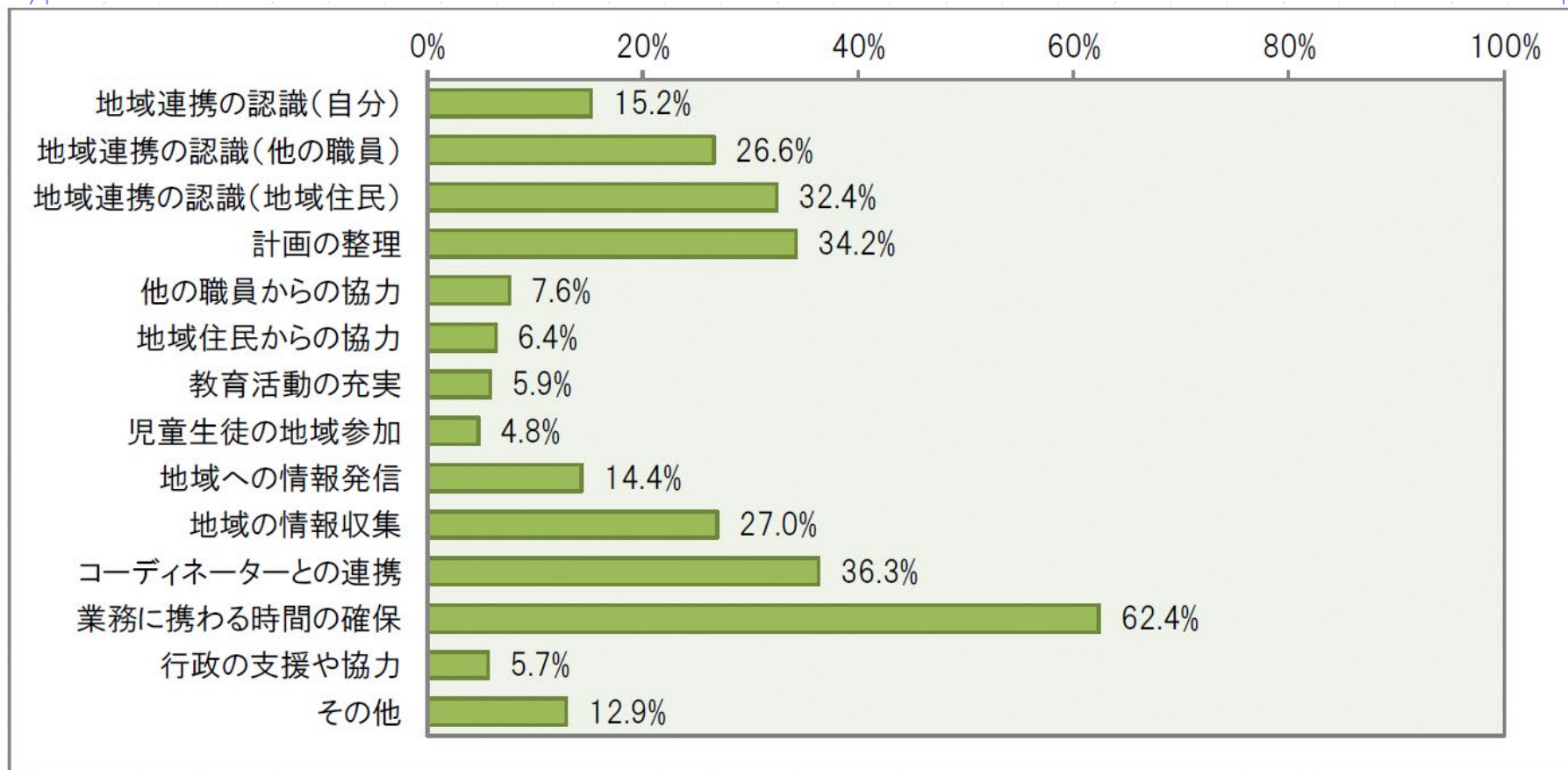
有資格の地域連携教員と地域コーディネーター双方の設置が相乗効果となり、多くの効果を生み出す。

「栃木県の地域連携教員設置におけるその効果と課題」
平成28年度国立教育政策研究所社会教育実践研究センター実務研修生研究報告書

地域連携教員制度の効果と課題

(4) 地域連携教員の課題

【地域連携教員として業務を進めてきての課題】



(n=564)

「地域連携教員の実態に関する調査研究」栃木県総合教育センター (H27)

(5) 地域連携教員制度の課題

○社会教育主事講習派遣の困難化

→派遣できる教員の不足(教員の状況)

→派遣の意義の理解不足

○社会教育主事有資格教員の指名促進

→チーム体制の構築

→校務分掌での配慮

○事務職員の指名

→事務職員の有資格者の活躍

(6) 今後の地域連携教員への期待

○地域とともにある学校づくりの促進役

- コミュニティ・スクールの設置と効果的な運用促進
- 地域の教育資源を活用した特色ある学校づくりの促進

○地域の教育資源の発掘と活用

- 社会に開かれた教育課程の実現
- 主体的・対話的で深い学びの支援

○学校を核とした地域づくりの発信役

- 学校での教育活動と地域活動の橋渡し役
- 地域づくりの視点をもった教育活動の推進

終

ご清聴ありがとうございました。

